



# みくにだより

「科学的な視野を育てるために」 園長 細井 典子

皆さん「こども科学電話相談」って聞いたことがありますか？今年もNHKラジオで8月上旬放送していました。現在は「科学」に限定しているようですが、私が幼いころは様々な質問に対して先生が会話を通して丁寧に答えてくださるこの番組が好きでした。久しぶりに聞いてみると多くの発見がありました。

小2男児の質問①「恐竜は脱皮しますか？」の問いに先生は「脱皮には大きく2通りあります」「人間がお風呂に入ると『垢』が出るのも脱皮の1つで、皮膚が少しずつはがれていくもの(ワニ、人間など)と蛇やザリガニのように洋服を脱ぐようにバリッと全身の皮が剥がれ落ちるものがあるそうです。回答の恐竜は少しずつ皮がはがれたのではないかと返答してくださいました。ところで、ザリガニの脱皮を見たことがありますか？私は就職してから、1匹しか飼っていなかったザリガニがある日突然2匹に増えたのを見て「ギョッ！」としたのを思い出します。よくみたら1つはぬけ殻でした。「あーっ！これが脱皮か?!」と感動したものです。

小2女児質問②「ニワトリやペンギンはどうして飛ばないの？」という問いには「羽が小さく退化している」「飛ぶときにはすごいエネルギーがいるんですよ」どうしてもエサを求めてとか暖かい所へ行くためにという飛ぶ目的があれば飛びます。でも一年中近くにエサがたくさんあって、飛ばなくてもよくなったら、だんだん飛ばなくなっただね、という回答でした。養鶏所が目に見えなくなりました。

ラジオを聞きながら年長児が柴田さんのお話を聞いている姿を思い出しました。子どもたちの素朴な疑問に丁寧に耳を傾けて応答して下さる姿が共通しています。柴田さんにはみくに便りの原稿を書いていただいたり、親子体験で「ダンゴ虫」の話や「不思議な種」の話をしていただいたり、年長児にビッグ・サイエンスという科学絵本を見ながらお話をさせていただいたりしています。今年度第一回は6月、カブトムシとクワガタがテーマでした。写真をよく見ながら頭と身体の違い、目の位置、角についてやエサ、メスとオスの違い、いっどこへ行くとこの虫は見つかるのか？など年長児の発言をくみ取りながら楽しく話をお聞きしました。その時の子どもたちの眼はキラキラ輝いていました。柴田さんは、子ども向けの本や図鑑の編集もたくさん手掛けていらっしゃいます。是非本屋さんで探してみたり、実際ご本人と会って、日頃疑問に思っていることをたずねてみてはいかがでしょうか？

## コロナ感染予防対策について

1学期よりコロナ感染予防をしてきましたが、2学期が始まり再確認をしていきます。

- ① こまめに手洗いをする。登園後、トイレに行った後、外遊びから入室するとき、給食前等頻繁に手を洗っています。子ども達もポスターを見ながら指と指の間まで気を使い手を洗う姿が見られます。
- ② 大声を出さない。朝の集まりや降園時などクラス全体に向かって話をしたり、大声を出している子を見かけたら積極的に注意を促しています。特に気をつけているのが食事中です。話をしないで食べるよう伝えています。
- ③ 密にならないよう努める。英語や体操など外部講師による指導の際、椅子の座り方などを工夫しています。また外遊びも集中しないよう教師間で話し合い、分散して園庭を使うことを心掛けています。これからも園内でできる限りの感染予防をしてまいりたいと思います。